

## 県指定文化財



### 1. 宝鏡寺薬師堂（建造物）

三間半×四間の木造平屋の建物で、現在の建物は享和4（1804）年に建替えられたものです。市内に現存する数少ない古い木造建築で、堂内には木造薬師如来立像、日光・月光菩薩立像、十二神将立像をはじめ多数の仏像が安置されています。



### 2. 木造七社権現立像（彫刻）

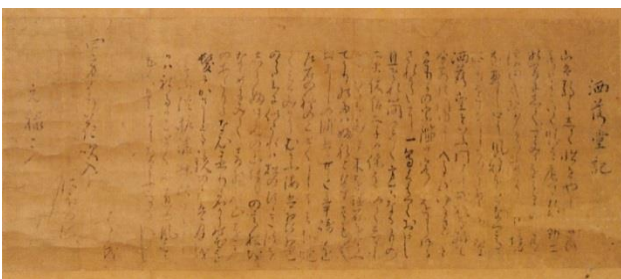
16世紀頃の造像で、7体すべてヒノキの一木造りです。保存状態も良く、伊豆権現、箱根権現、日光権現、白山権現、熊野権現、蔵王権現、山王権現の7体すべての神像が現存しており、県内でも貴重な資料です。



### 3. 紙本墨書大般若経（書跡）

臨済宗向嶽寺派寺院の花井寺に保管されており、奥書より安貞2（1228）年から室町中期（1393～1573）年に写経および補写が行われたと考えられます。

502巻が現存しており、県内でも屈指の古写経です。



### 4. 紙本墨書洒落堂記（書跡）

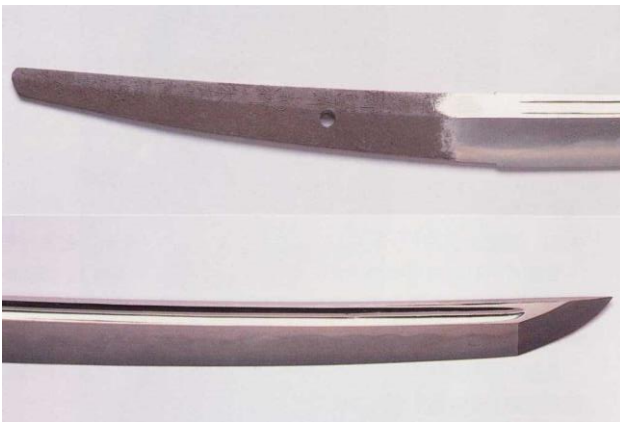
軸物で、松尾芭蕉が元禄3年3月に弟子の浜田珍夕を訪れた時に書いたものとされています。洒落堂は珍夕の草庵の名で、洒落堂記は初稿本と考えられています。



**5. 法雲寺弥陀三尊迅来迎板碑 (考古資料)**  
図柄や技法から、文永から弘安（1264～1278）年間に造立されたものと推定されています。向かって左上から阿弥陀三尊がおりてくる様子を描いたもので、脇侍が腰をやや屈めて立つ迅来迎の図柄が刻まれています。



**6. 元近の太刀 (歴史資料)**  
全長97.5cm、刃長76.0cm、反り3.0cm、身幅は鉤元で3.2cm、横手で2.2cm、裏表に、  
（表）於駒橋元近打之天文十七年六月吉日  
（裏）甲州都留郡葛野郷御岳権現為御剣  
と刻銘されています。



**7. 元近の太刀 (歴史資料)**  
全長99.0cm、刃長78.0cm、反り3.4cm、身幅は鉤元で3.5cm、横手で2.4cm、裏表に、  
（表）元近作之天文十七年九月吉日  
（裏）甲州都留郡小西郷大木大明神為御剣  
於駒橋  
と刻銘されています。



**8. 追分の人形芝居 (無形民俗)**  
義太夫節を伴奏とした人づかい様式の人形芝居で、18世紀頃に淡路の人形使いによってもたらされ、庶民の文化として受け継がれてきた人形芝居です。



## 9. 岩殿城跡（史跡）

戦国期に築城された山城で、『甲斐国志』には、「一の堀」、「二の堀」、「本城」、「馬場」、「大門口」、「蔵屋敷」、「亀ガ池」という地名が記載されています。戦国期、甲斐国東方の防衛施設の拠点として機能したと考えられており、城内に造られた施設の遺構も良く残されています。



## 10. 笹子峠の矢立の杉（天然記念物）

笹子峠の頂上よりやや東へ下った沢沿いに樹立しています。樹高約26m、根回り約15m、目通幹囲9m、幹は地上約22mで折損し、内部は空洞となっています。梢頭の数枝は白骨化しており、幹の空洞内には昭和4年の火災にて木炭化しています。しかしながら、樹勢はまだ衰えておらず、県下で有数の杉の巨樹となっています。